

静岡茶活性化、思い共有

県内の若手茶生産者と茶商らの座談会（県茶業会議所など主催）が17日、静岡市葵区で開かれ、静岡茶の活性化に向けた思いを共有した。



栽培 消費者対応語る

「これがぼくらの静岡茶、現在進行形」と題し、それぞれの取り組みを説明した。茶生産のぐりむ（同市清水区）の片平次郎社長は茶園拡大に向け、地元の耕作放棄地に新たに茶の木を1万5千本植える計画を紹介。安間製茶（袋井市）の安間孝介代表は、うま味や甘みが一般的な茶の3倍と言われる「白葉茶」の生産について解説した。

生産、販売を手掛け
るグリーンエイト（静
岡市清水区）の北條広

静岡茶の魅力について語る茶生産者や茶農
家ら＝静岡市葵区

樹代表は「茶工場の見かけを広げたい」など
学会を開き、消費者がお茶に興味を持つきっかけ
（経済部・牧野めぐみ）